

子育て支援者向け研修事業〈大規模研修会〉

子どもの育ちを考える

～東日本大震災からみえてきたもの～

子育て応援フォーラム in 東京

開催日時

平成23年11月3日(木)
10:30～16:45 (受付10:00～)

開催場所

島根イン青山
(東京都港区青山7丁目1-5)

定員

100名

託児

定員10名(1歳～先着順)

対象者

子育て支援に関わる人及び
関心がある人

参加費
無料

未曾有の東日本大震災から半年以上が経ちました。被災者のみなさまは不安と厳しい生活の現実に向き合いながらも、互いに助け合い前向きに生きておられる姿に、私たちは多くのことを学ばせていただいています。

そのような中でも気になるのは被災後の子どもたちの様子です。今までできていたことができなくなったり、小さな物音に敏感になったり、余震をとっても不安がったりと震災の影響やストレスが出てきている子どもさんも多いはず。そして、そんなお子様の様子を親御さんが大変心配して見えています。

今この現実の中で、子どもたちの周りにいる大人たちは何をすればよいのか、何ができるのかを考えてみませんか。

本フォーラムでは、被災地の子ども支援を実践されている講師のお話や、被災された現地の子育てNPOの方々の報告をふまえ、みなさまとともに子どもの育ちや子育て家族をどのように応援していけばよいのかを学びあっていきたいと思います。多数のご参加をお待ちしています。

プログラム

- 10:00 受付開始
- 10:30 開会 挨拶
- 10:35 基調講演
「子どもの育ちを考える
～被災地の子ども支援をとおして～」
多田 千尋
芸術教育研究所 所長・東京おもちゃ美術館館長
- 12:00 昼食・休憩
- 13:00 シンポジウム
「被災地の子ども・親支援から見えてきたもの」
●コーディネーター
多田 千尋
芸術教育研究所 所長・東京おもちゃ美術館館長
●シンポジスト
大葉ナナコ
バースセンス研究所 代表
両川いずみ
NPO法人いわて子育てネット 事務局長
布田 幸子
NPO法人ホームひなたぼっこ 理事長
- 15:30 休憩
- 15:40 おはなし会「遊びが育む子育て力・人間力」
永野むつみ
人形劇団ひばりぼたあむ 代表
- 16:45 終了



多田 千尋 (ただちひろ)

芸術教育研究所 所長、東京おもちゃ美術館 館長

明治大学法学部卒業後、モスクワ大学系属プーシキン大学に留学。併せて科学アカデミー就学前教育研究所、国立玩具博物館の研究生として幼児教育・児童文化などを学ぶ。近年は、要介護の高齢者を対象とするアクティビティケアの啓蒙と推進、遊びや遊具を活用した介護予防の実践研究などや世代間交流の実践・研究、シニアを巻き込んだ新時代の子育て支援などに取り組む。



永野 むつみ (ながの むつみ)

人形劇団ひばりぼたあむ 代表

山形県生まれ。人形遣い。めだかと共に東京都府中市在住。2000年から絵本塾「むつみの会」主宰。2003年 財団法人とらまる人形劇学校パペットアーク設立に参加。同校専任講師。



大葉 ナナコ (おおば ななこ)

バースコーディネーター、バースセンス研究所 代表

公益社団法人誕生学協会代表理事。97年から妊娠前から産前産後までをサポートするスクールを開講。行政の両親学級委託や官公庁の委員も務める。著書多数。2男3女の母。



両川 いずみ (りょうかわ いずみ)

NPO法人いわて子育てネット 事務局長

盛岡出身。盛岡情報ビジネス専門学校医療事務科・盛岡医療福祉専門学校非常勤講師を経てヒューマンステーション設立NPO法人いわてNPOフォーラム21理事・事務局長、NPO法人いわて子育てネット副理事長・事務局長。



布田 幸子 (ふだ ゆきこ)

NPO法人ホームひなたぼっこ 理事長

保育士として勤務後、1978年自宅を開放し託児所を開設。1999年子どもたちやお年寄りとお過ごし和やかな活動を、自宅を開放して「ホームひなたぼっこ」を開所。2008年介護と保育の共生型ホーム地域交流サロンを開所。乳幼児からお年寄りまで大家族のように過ごすをモットーにしている。

